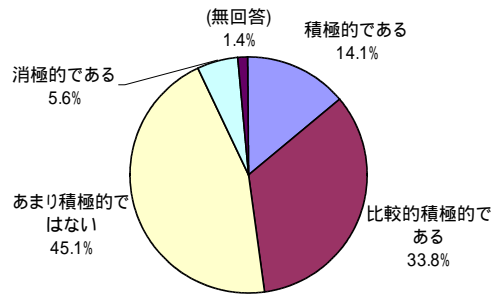
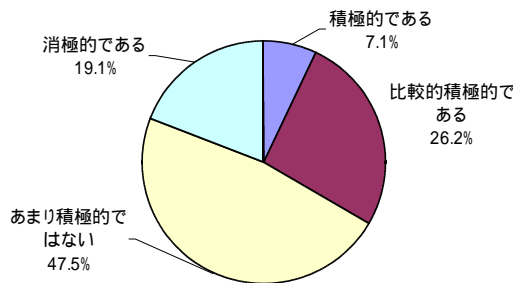


図表6-3-2 他の在宅就業者との交流への積極性 (男性)  
(交流の機会が「必要である」と回答した者)

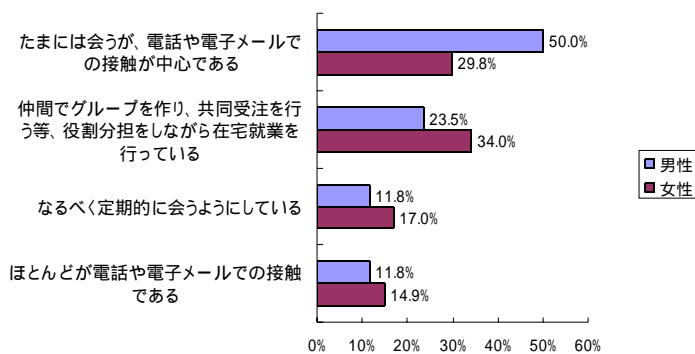


図表6-3-3 他の在宅就業者との交流への積極性 (女性)  
(交流の機会が「必要である」と回答した者)



交流に「積極的」、「比較的積極的」と回答した者に仲間との接触方法を尋ねたところ、男性では「電話や電子メールによる接触」(50.0%)が主流であったが、女性では「仲間とグループを作って共同受注を行う等の活動をしている」(34.0%)が最も多く、年齢層が上がるほどその割合は増加した。

図表6-3-4 男女別仲間との接触方法  
(交流に「積極的である」、「比較的積極的である」と回答した者)



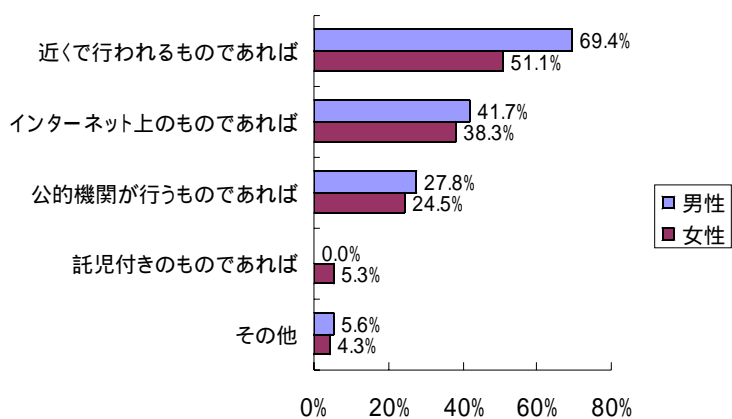
図表6-3-5 年齢階層別仲間との接触方法  
(交流に「積極的である」、「比較的積極的である」と回答した者)

総数	たまには会うが、電話や電子メールでの接触が中心である	仲間とグループを作り、共同受注を行う等、役割分担をしながら在宅就業を行っている	なるべく定期的に会うようにしている	ほとんどが電話や電子メールでの接触である	(無回答)

20～29歳	100.0%	50.0%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%
30～39歳	100.0%	35.9%	28.2%	12.8%	17.9%	5.1%
40～49歳	100.0%	42.3%	30.8%	19.2%	7.7%	0.0%
50～59歳	100.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%
60才以上	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(無回答)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

一方、「あまり積極的でない」、「消極的」と回答した者にグループ交流に参加する条件を尋ねたところ、「近くで行われる」(男性69.4%、女性51.1%)が最も多く、ついで「インターネット上での交流」(男性41.7%、女性38.3%)であった。

図表6-3-6 男女別グループ交流に参加する条件(複数回答)  
(交流に「あまり積極的ではない」「消極的である」と回答した者)



インターネットは、男性の87.3%、女性の73.0%が利用していた。在宅就業のワン・ストップサービスサイトの利用については、サイトの具体的なイメージを示さなかったこともあり、回答者の約半数が「判らない」と回答した。しかし、現時点で「利用しない」と回答した者はどの区分でも数%に留まり、サイト利用の潜在的ニーズはあるものと考えられる。

図表6-3-7 ワン・ストップサービスサイトの利用希望

	総数	インターネットを利用している者				インターネットを利用していない者				(無回答)
		サイトがあれば利用する	サイトがあっても利用しない	利用するかどうかわからない	(小計)	サイトがあれば利用する	サイトがあっても利用しない	利用するかどうかわからない	(小計)	
男女計	100.0%	33.9%	4.3%	38.7%	(76.8%)	4.3%	2.4%	13.9%	(20.5%)	2.7%
男性	100.0%	40.0%	3.6%	43.6%	(87.3%)	2.7%	2.7%	6.4%	(9.1%)	0.9%
女性	100.0%	31.6%	4.6%	36.9%	(73.0%)	4.9%	2.3%	16.3%	(23.6%)	3.4%

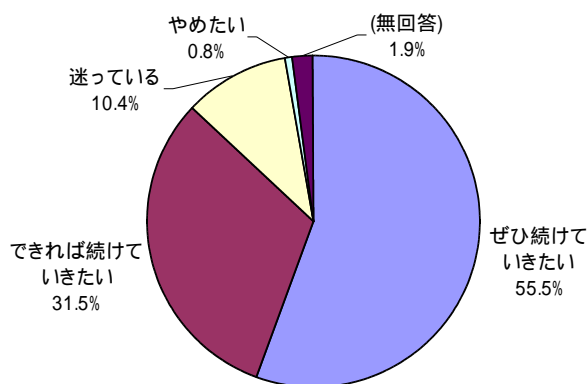
## 7 在宅就業に係る将来展望

在宅就業の継続希望は9割。やめたい理由は「収入が少ない、不安定だから」。  
子育て時期後の出勤は、出たくない者が6割。出たくない理由は「時間の自由がきかない」「家を空けたくない」が多い。

在宅就業の継続希望については、55.5%が「ぜひ続けたい」と回答し、「できれば続けたい」(31.5%)も

含めると、ほぼ9割が継続希望を持っていた。特に、末子が就学前の層では、継続希望が全般的に高かった。

図表7-1 今後の在宅就業継続希望



図表7-2 末子年齢層別今後の在宅就業継続希望

	総数	ぜひ続けていきたい	できれば続けていきたい	迷っている	やめたい	(無回答)
0歳	100.0%	66.7%	26.7%	6.7%	0.0%	0.0%
1歳	100.0%	69.2%	15.4%	15.4%	0.0%	0.0%
2～3歳	100.0%	75.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%
4～6歳	100.0%	47.1%	44.1%	8.8%	0.0%	0.0%
7～11歳	100.0%	52.8%	32.1%	9.4%	0.0%	5.7%
12歳以上	100.0%	50.6%	29.9%	14.3%	2.6%	2.6%
同居の子供なし	100.0%	56.3%	31.1%	10.1%	0.8%	1.7%
(無回答)	100.0%	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	0.0%

一方、「迷っている」、「やめたい」と回答した者は合わせて11.2%おり、その理由を複数回答で尋ねたところ、「収入が少ない、不安定だから」(78.6%)が最多で、年齢の若い世代ほどその割合が高かった。

図表7-3 迷っている、やめたい理由 (複数回答)  
(在宅就業の継続を「迷っている」「やめたい」と回答した者)

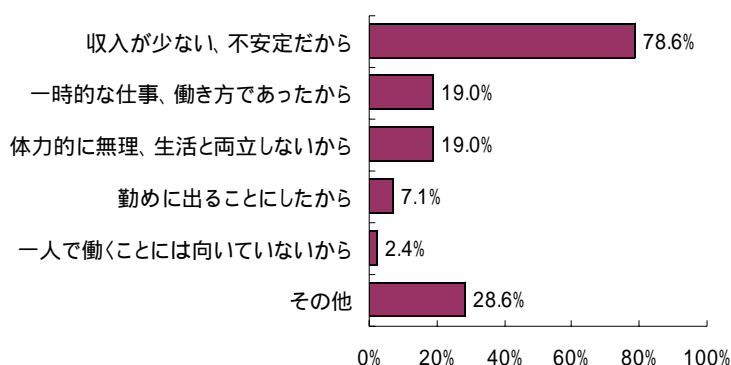


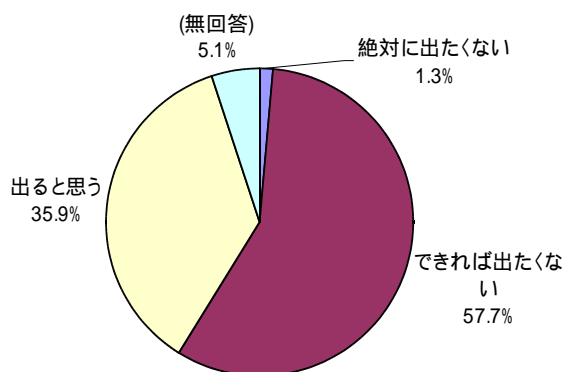
図7-4 年齢層別迷っている、やめたい理由 (複数回答)  
(在宅就業の継続を「迷っている」「やめたい」と回答した者)

	総数	収入が少ない、不安定だから	一時的な仕事、働き方であったから	体力的に無理、生活と両立しないから	勤めに出ることにしたから	一人で働くことには向いていないから	その他

20～29歳	100.0%	100.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%
30～39歳	100.0%	90.9%	22.7%	27.3%	4.5%	4.5%	27.3%
40～49歳	100.0%	85.7%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	28.6%
50～59歳	100.0%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	33.3%

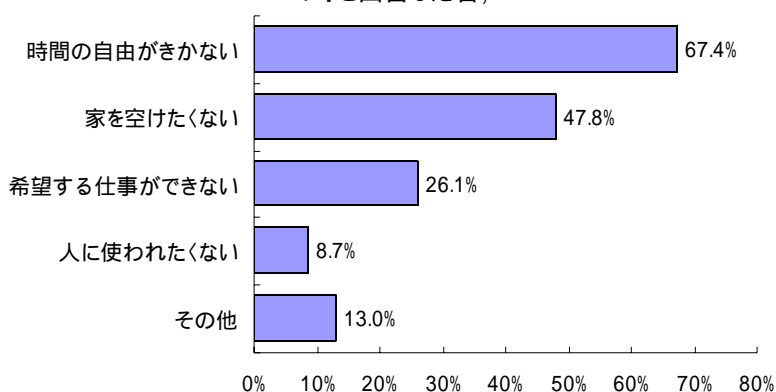
未就学児童がいる女性(末子年齢6歳以下)に対し、子育て時期後の出勤希望について尋ねたところ、「絶対出たくない」(1.3%)、「できれば出たくない」(57.7%)の合計で6割近くに及び、「出ると思う」と回答した者は35.9%であった。

図表7-5 子育て時期後の出勤希望の有無



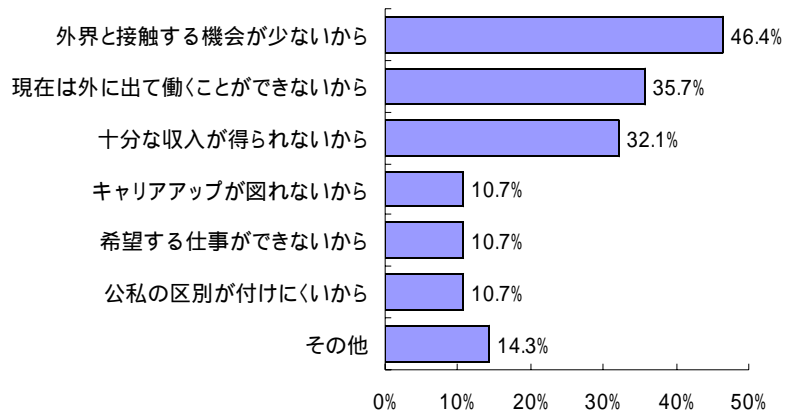
出たくないと回答した者にその理由を尋ねたところ、「時間の自由がきかない」(67.4%)、「家を空けたくない」(47.8%)が多かった。

図表7-6 出たくない理由(複数回答)  
(出勤希望について「絶対に出たくない」「できれば出たくない」と回答した者)



一方、「出ると思う」と回答した者にその理由を尋ねたところ、「外界と接触することができない」(46.4%)、「現在は外に出て働くことができない」(35.7%)、「十分な収入が得られない」(32.1%)が上位を占めた。

図表7-7 出ると思う理由（複数回答）  
（出勤希望について「出ると思う」と回答した者）



# 平成13年度家内労働等実態調査要綱

## ～ 情報通信機器の活用による在宅就業実態調査 ～

### 1 調査の目的

この調査は、家内労働類似の働き方である在宅就業（パソコン、ワープロあるいはファックスなどの通信機器を使って自宅で請負・フリーの仕事を行うこと）の契約条件などの実態等を把握し、在宅就業対策の推進の基礎資料とすることを目的とする。

平成13年度は、ガイドライン策定後の発注状況を把握するとともに、在宅就業者の実情やニーズ等について調査を行う。

### 2 調査の範囲

#### (1) 地域

日本国全域（ただし、一部島しょを除く。）

#### (2) 産業

出版・印刷・同関連産業、情報サービス・調査業、広告業、専門サービス業（他に分類されないもの）、その他の事業サービス業

#### (3) 対象数

イ 発注者調査：上記(2)の産業に属する事業所の中から、在宅就業者に発注を行っている1,000事業所

ロ 在宅就業者個人調査：上記発注者が仕事を発注した在宅就業者2,000人

### 3 調査事項

次に掲げる事項

#### (1) 発注者調査

イ 属性に関する事項

(イ) 名称

(ロ) 所在地

(ハ) 事業の内容

(ニ) 事業所の常用労働者数

ロ 発注に関する事項

(イ) 発注している業務及び人数

(ロ) 業務請負業者への発注の有無、割合及び理由

(ハ) 発注開始時期

(ニ) 発注する理由

(ホ) 在宅就業者の募集方法

(ハ) 在宅就業者の選考方法

(ト) 在宅就業者に対する選考基準の有無及び内容

(フ) 選考後の発注方法及び継続的な注文の打切りの場合における事前予告の有無

#### ハ 契約条件に関する事項

(イ) 文書明示状況

(ロ) 報酬額の設定

(ハ) 報酬額の支払時期、支払方法

(ニ) 納期の設定方法

(ホ) 成果物の納期や成果物に対する評価

- (ハ) 情報通信機器の所有関係及び諸経費の取扱い
- (ト) 納期、納品物の形態及び納品方法

## 二 その他

- (イ) 健康確保措置の実施状況
- (ロ) 能力開発機会の付与状況
- (ハ) 問い合わせや苦情等の受付担当者の有無
- (ニ) 発注による問題点
- (ホ) トラブルの有無及び内容
- (ハ) 過去3年における発注量の変化及び今後の発注量の増減の見込み

## (2) 在宅就業者個人調査

### イ 属性に関する事項

- (イ) 性、年齢
- (ロ) 配偶者の有無、子の有無、末子の年齢

### ロ 在宅就業に関する事項

- (イ) 経験年数
- (ロ) 仕事の職種及び過去の業務経験の有無
- (ハ) 在宅就業を始めた理由
- (ニ) 仕事の確保状況及び方法
- (ホ) 仕事の依頼主数及び最も多い依頼主のウエイト
- (ハ) 年収
- (ト) 作業時間帯、2月の在宅就業日数及び1日の平均作業時間

## ハ 契約に関する事項

- (イ) 契約方法（明示方法）
- (ロ) 納期、納品物の形態及び納品方法
- (ハ) 報酬単位及び報酬の決定の手順
- (ニ) 在宅就業開始に際しての準備及び諸経費
- (ホ) 情報通信機器の使用及びその所有関係

## 二 その他

- (イ) トラブルの有無、内容、対応及び在宅就業を行う上で困っていること
- (ロ) 健康管理
- (ハ) 必要な知識、能力維持向上の方法
- (ニ) 情報交換の必要性、手段及び内容
- (ホ) 情報サイトの利用希望
- (ハ) 在宅就業の継続希望
- (ト) 子育て期の女性の働き方に対する希望

## 4 調査の対象期日

原則として、平成14年2月末日現在について行う。ただし、調査事項の一部については平成14年2月末日を遡る1～2年間あるいは、平成14年2月分を対象とする。

## 5 調査の実施期間

平成14年3月1日から3月14日までとする。

## 6 調査機関

(1) 発注者調査

厚生労働省雇用均等・児童家庭局短時間・在宅労働課 - 事業所

(2) 在宅就業者個人調査

厚生労働省雇用均等・児童家庭局短時間・在宅労働課 - 事業所 - 在宅就業者

7 調査の方法

(1) 調査票

「平成13年度家内労働等実態調査 - 情報通信機器の活用による在宅就業実態調査（発注者調査票） - 」及び「平成13年度家内労働等実態調査 - 情報通信機器の活用による在宅就業実態調査（在宅就業者個人調査票） - 」

(2) 調査の方法

自計式通信調査の方法により行う。

8 集計事項

(1) 発注者調査

イ 業種、事業所規模別にみた在宅就業の発注金額の最も多い仕事の内容（以下「最多仕事内容」という。）及び在宅就業者の人数

ロ 業種、事業所規模別にみた請負業者への発注の有無、割合（有りの場合は、その理由）

ハ 最多仕事内容別にみた在宅就業者への発注開始年及び発注理由

ニ 最多仕事内容、発注理由別にみた仕事を発注する在宅就業者の募集ルート、選考方法、選考基準及び選考後の発注状況（取引等停止の場合の予告の有無及び時期等）

ホ 最多仕事内容別にみた契約の仕方（初回時、2回目以降）

へ 初回時の契約の仕方別にみた2回目以降の契約方法

ト 最多仕事内容別にみた報酬額の設定（報酬単位・報酬決定の手順）

チ 最多仕事内容別にみた報酬支払の時期、方法及び報酬額の設定にあたり重視する事項

リ 最多仕事内容別にみた納期・締切の設定方法、成果物の評価（評価を行っている場合は、評価が今後の仕事発注や報酬単価に与える影響）

又 最多仕事内容別にみた使用情報通信機器等の種類、所有関係、諸費用の負担、納品までの期間、納品の形態及び成果物の納入方法

ル 最多仕事内容別にみた納期・締切の設定方法、成果物の評価、成果物の評価が次の発注に与える影響及び成果物の評価が次の仕事の報酬単価に与える影響

ヲ 最多仕事内容別にみた各種健康診断の実施状況及び健康管理への意識

ワ 最多仕事内容別にみた研修、講習の実施の有無・内容及び管理担当・台帳の有無

カ 最多仕事内容、発注理由、選考後の発注状況別にみた在宅就業の問題点、トラブルの有無（内容・対処方法）

ヨ 管理担当・台帳の有無別にみたトラブルの内容及び対処方法

タ 最多仕事内容別にみた発注量の変化及び今後の方針

(2) 在宅就業者個人調査

イ 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）別にみた、年齢及び在宅就業経験年数

ロ 年齢、在宅就業の職種別にみた就業経験年数



- ハ 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）別にみた、在宅就業の職種、過去の業務経験及び在宅就業を始めた理由
- ニ 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）、在宅就業の職種別にみた仕事の確保状況及び依頼主の数
- ホ 在宅就業の職種、依頼主の数別にみた最も多い依頼主のウエイト
- ヘ 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）、就業経験年数、在宅就業の職種、依頼主の数別にみた依頼主のを見つけ方
- ト 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）、在宅就業経験年数、在宅就業の職種別にみた年商（収）、主に働く時間帯
- チ 2月の月収にみた就業日数及び1日の作業時間
- リ 在宅就業の職種別にみた、契約方法、受注から納品までの期間、納品物の形態、納品方法、仕事の報酬単位の決定及び報酬決定の手順
- ヌ 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）、在宅就業の職種別にみた、在宅就業にあたって準備した内容・費用及び使用する情報通信機器の種類（所有関係）
- ル 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）、在宅就業の職種別にみたトラブルの有無・内容・対応及び困っていること
- ヲ 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）、在宅就業の職種別にみた、健康状態（症状・治療の有無）及び各種健康診断受診状況
- ワ 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）、在宅就業の職種別にみた必要な能力の修得方法、現在の取組の有無及び内容
- カ 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）、年齢、就業年数、在宅就業の職種別にみた交流機会の必要性、参加希望の有無及びその希望
- ヨ 性別、配偶者の有無、同居の子の有無（末子の年齢）、年齢、就業年数、在宅就業の職種別にみた在宅就業継続の希望の有無及び理由
- タ 子育て期終了後の就業形態の希望及び理由

## 9 集計方法

厚生労働省雇用均等・児童家庭局において集計する。

## 10 結果の公表

集計完了次第結果報告書を作成して公表する。

## 11 関係書類の保存期間及び保存責任者

調査票については2年間、集計結果原表については10年間、これらの保存責任者は厚生労働省雇用均等・児童家庭局長とする。

総務省承認	22788
承認期限	平成14年4月30日まで

都道府県 番号	番号	産業分類番号 (中分類)

印欄は記入しないでください。

秘

平成13年度家内労働等実態調査

厚生労働省

情報通信機器の活用による在宅就業実態調査(発注者調査票)

この調査票は、統計以外の目的に使用することは決してありませんので、ありのままを記入してください。

- 回答は、特にことわりがない限り、平成14年2月28日現在の状況を記入してください。
- 記入方法  
回答は、すべて太枠内に記入してください。  
回答欄は、特にことわりがない限り、該当するものを一つだけ選び、その番号を で囲んでください。  
また、( )内は具体的に記入してください。  
回答欄が 1 2 3 のように網掛けになっている場合は、複数回答となっています。  
回答欄が空欄のものは、該当事項、該当数字を記入してください。  
記入が終わった調査票は同封の返信用封筒で平成14年3月14日までに返送してください。
- この調査についてご質問等がありましたら、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先  
(厚生労働省雇用均等・児童家庭局短時間・在宅労働課)  
〒100-8916  
東京都千代田区霞が関1-2-2  
TEL 03-5253-1111(内線7879)直通03-3595-3273  
FAX 03-3502-6764

記入 担当者	(所属部課名)	(電話番号) 内線	(氏名)
-----------	---------	--------------	------

この調査では、「在宅就業」をパソコン、ワープロあるいはファックスなどの情報通信機器を使って自宅で請負・フリーの仕事を行うことと定義しています。

事業所に関する事項

(シール貼付)						
1 主な事業内容	出版・印刷	情報サービス、調査	広告	デザイン、設計	その他( )	
	1	2	3	4	5	
(注1) 2 事業所の常用労働者数 (平成14年2月28日現在)	0人	1~4人	5~29人	30~99人	100~299人	300人以上
	1	2	3	4	5	6

(注1) 常用労働者とは、次の者をいいます。  
イ 期間を定めずに、又は1か月を超える期間を定めて雇われている者。  
ロ 臨時、日雇、パートタイム労働者等で、調査日前2か月(平成14年1月、2月)の各月にそれぞれ18日以上雇われた者。  
ハ 取締役、理事などの役員のうちで常時勤務して、一般労働者と同じ給与規則又は同じ基準で毎月給与の支払いを受けている者。  
ニ 上記イ、ロ、およびハの条件に該当する、他企業からの出向者(なお、他企業への出向者は在籍出向、移籍出向を問わず除いてください。)

発注に関する事項

問1 貴事業所で、過去1年間に在宅就業者に仕事を直接発注したことがある仕事の内容は何ですか。(発注金額が多い仕事の内容について3つ以内に印をつけてください。また、印が2つ以上の場合は、1番多いものの番号を右の枠内にご記入ください。)

文書入力	1	設計、製図、デザイン	7	一番多いもの □
テープ起こし	2	DTP(編集)、電算写植	8	
データ入力	3	ライター、翻訳	9	
ホームページ作成	4	調査、コンサルティング	10	
システム設計、プログラミング	5	取引文書作成、伝票整理	11	
計算処理、情報検索	6	その他(具体的に： )	12	

問1-2 貴事業所では、過去1年間に上記の仕事を発注した在宅就業者は何人いましたか。

□ 人(うち女性 □ 人)

問2 問1でお答えいただいた仕事の内容のうち、在宅就業者個人に直接発注を行わず、業務請負業者(仲介的公司)を経由して在宅就業者に発注しているものはありますか。その割合はどの位ですか。その理由もお聞かせください。

ある	1	業務請負業者を経由 割程度	信頼性が高いから	1	在宅就業者の管理の必要がないから	3
			在宅就業者の情報がないから	2	その他( )	4
ない	2					

(問1で、2つ以上を選択された場合、以下の問いは、一番多いものの仕事の内容についてお答えください。)

問3 在宅就業者への仕事の発注はいつから始めましたか。

1980年以前	1	1986~88年	3	1992~94年	5	1998~2000年	7
1981~85年	2	1989~91年	4	1995~97年	6	2001年以降	8

問4 在宅就業者へ仕事の発注を始めた理由は何ですか。(該当するもの2つ以内に印をつけてください。)

人件費コストの削減	1	専門的業務への対応	5
オフィスコストの削減	2	繁忙期への対応	6
労働力の確保	3	一時的な業務への対応	7
退職労働者の能力・経験の活用	4	その他( )	8

問5 仕事を発注する在宅就業者の募集はどのようなルート、手段で行っていますか。(該当するものすべてに印をつけてください。)

新聞広告、情報誌などによる公募	1	退職者(予定者)の応募、申し出	6
インターネットによる公募	2	本人の売り込み	7
在宅就業者からの紹介	3	募集せずに会社から直接依頼	8
社員からの紹介	4	その他( )	9
取引先からの紹介	5		

問6 在宅就業者の選考は何により行っていますか。(該当するものすべてに印をつけてください。)

書類審査	1	実技試験	3
面接試験	2	その他( )	4

問7 選考に当たり選考基準はありますか。また、そのとき重視する内容は何か。（該当するものすべてに 印をつけてください。）

当該職種の経験	1	インターネット、ファックスなどの装備	6
高度な能力、高い熟練度	2	自宅が会社から遠くないこと	7
責任感、信頼性	3	その他（ ）	8
自己管理能力	4	選考基準はない	9
仕事への意欲、積極性	5		

問8 選考後の仕事の発注はどのように行っていますか。

恒常・定期的に仕事を発注する（よう努める）	1
登録型とし、必要に応じて仕事を発注する	2
仕事ごとに選考、契約を行う	3
その他（ ）	4

発注若しくは登録している人数をご記入ください。

人
---

問8-2 恒常・定期的または登録型により仕事を発注している場合、取引または登録を停止する際に在宅就業に対して事前に予告していますか。またしている場合、その時期はいつ頃ですか。

している	直前	1
	1ヶ月未満前	2
	1ヶ月以上前	3
していない		4

契約条件に関する事項

問9 在宅就業者との仕事の契約はどのように行っていますか。

(1) 初回の契約（発注）時

書面（契約書方式）	1
書面（伝票形式）	2
書面（メモ程度）	3
電子メール	4
口頭	5
その他（ ）	6

(2) 2回目以降の契約（発注）時（該当するものすべてに 印をつけてください。）

書面（契約書方式）	1
書面（伝票形式）	2
書面（メモ程度）	3
電子メール	4
口頭	5
その他（ ）	6

問10 報酬額の設定はどのような単位、手順で決めていますか。

(1) 報酬単位

出来高	1
出来高から換算した所要時間	2
実際の所要時間	3

(2) 報酬決定の手順

会社側で設定する	1
会社側が設定し、必要があれば調整する	2
在宅就業者の提示をもとに交渉する	3
在宅就業者の提示に従う	4

問11 報酬の支払時期、支払方法はどのようなになっていますか。

(1) 支払時期

1ヶ月に1度	1
納品の都度(即日)	2
納品の都度(1ヶ月以内)	3
納品の都度(1ヶ月超後)	4
その他( )	5

(2) 支払方法

銀行口座への振り込み	1
会社で現金払い	2
在宅就業者の自宅で現金払い	3
その他( )	4

問12 報酬額の設定にあたり重視する事項は何ですか。(該当する項目を3つまでをつけてください。)

正社員の賃金	1	仕事の難易度	6
派遣労働者の賃金	2	納期の長短	7
パート、アルバイトの賃金	3	在宅就業者の実績、能力	8
同業者の地域相場	4	その他( )	9
最低賃金	5		

問13 仕事の発注にあたり、納期、締切はどのようにして決めていますか。

業務上の要請に合わせて設定する	1
業務上の要請や在宅就業者の状況を勘案し、管理者が自らの判断で設定する	2
管理者と在宅就業者が調整、合意の上、設定する	3

問14 成果物の内容や納期等、在宅就業者の仕事の成果物に対する評価は行っていますか。

定まったやり方で行っている	1
定まったやり方ではないが、成果のチェックなどを通じて評価している	2
特に行っていないが、顧客の反応などでわかる	3
特に行っていない	4

→ 問16へお進みください。

問15 仕事の成果物の評価は、次の仕事発注や報酬単価に影響しますか。

〔仕事発注〕

かなり影響する	1
ある程度影響する	2
若干影響する	3
影響しない	4

〔報酬単価〕

かなり影響する	1
ある程度影響する	2
若干影響する	3
影響しない	4

問16 在宅就業にあたって、主にどのような情報通信機器を使用させていますか。またその所有関係及び費用負担はどのようなになっていますか。(発注等コミュニケーションのために使用するものを除き、主な情報通信機器1つについてご記入ください。)

	発注前から個人が所有	発注に当たり又は発注後個人に購入又は買取させる		発注に当たり貸与を行う		その他( )
		全額個人負担	一部会社負担	有料	無料	
パソコン	1	2	3	4	5	6
ワープロ	1	2	3	4	5	6
ファックス	1	2	3	4	5	6
その他( )	1	2	3	4	5	6

問17 仕事上の諸費用の負担はどのようになっていますか(それぞれの項目についてお答えください。)

費用負担区分項目	ソフトウェア費用	電気代	通信費(電話、メール、郵便)	消耗品費(用紙など)	出社の際の交通費
全額会社負担	1	1	1	1	1
一部会社負担	2	2	2	2	2
会社負担なし	3	3	3	3	3
使わない				4	4

問18 発注から納品までの期間はどのくらいですか。（以下の4職種について、発注がある場合のみ、最も多いもの1つに印を付けてください。）

職種〔納品単位〕	発注から納品までの期間									
	1日未満	1日以上 3日未満	3日以上 5日未満	5日以上 1週間未満	1週間以上 2週間未満	2週間以上 1ヶ月未満	1ヶ月以上 2ヶ月未満	2ヶ月以上 3ヶ月未満	3ヶ月以上	
文章入力〔400字詰め原稿用紙30枚当たり〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
テープ起こし〔録音時間90分当たり〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
データ入力〔100レコード当たり〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ホームページ作成〔HTMLファイル1つ当たり〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

注1)〔 〕内に示されている納品単位と実際の納品とが異なる場合、〔 〕内の単位に換算して、記入してください。以下に例を示します。

例1  
40字30行の文書(1枚当たり1200字)15枚の文書入力の発注から納品までの期間が5日の場合：  
 $(400字 \times 30枚) / (1200字 \times 15枚) \times 5日 = 3.3日$

例2  
録音時間30分のテープ起こしの発注から納品までの期間が1日の場合：  
 $90分 / 30分 \times 1日 = 3日$

注2) データ入力については、1レコード当たりの文字数にかかわらず、レコード数(件数)のみで換算してください。

注3) ホームページの作成については、HTMLファイル数によって発注から納品までの期間を設定している場合のみご記入ください。

問18-2 文章入力の発注を行っている場合のみお答えください。納品はどのような形態及び方法で行われますか。一番多いものについてお答えください。

フロッピーディスク	宅急便・郵便で送らせる 管理者が取りに行く 在宅就業者に持ってこさせる その他( )	1 2 3 4
印刷物(紙)	ファックスで送信 宅急便・郵便で送らせる 管理者が取りに行く 在宅就業者に持ってこさせる その他( )	5 6 7 8 9
通信データ	データ送信(電子メール等) その他( )	10 11

その他

問19 在宅就業者のための健康診断を行っていますか。また、行っている場合、その時期、内容及び費用負担は、どのように行っていますか。(該当するものすべてに印を付けてください。)

〔時期〕

〔内容及び費用負担〕

行っている	最初の契約時	1
	年1回	2
	不定期	3
行っていない		4

一般健康診断	実施した	全額会社負担	1
		一部会社負担	2
		全額個人負担	3
	実施していない		4

VDT健診	実施した	全額会社負担	1
		一部会社負担	2
		全額個人負担	3
	実施していない		4

その他	実施した	全額会社負担	1
		一部会社負担	2
		全額個人負担	3
	実施していない		4

注) VDT健診：視力検査握力検査、タッピング検査など

問20 在宅就業者の能力が技術進歩に遅れないようにすること、またその能力をさらに向上させることに関心がありますか。ある場合、誰が行う必要があると思いますか。(該当する項目すべてに印を付けてください。)

関心がある	会社が行う必要がある	1
	個人で行うべきである	2
	行政のサポートが必要である	3
関心がない		4

問22へ

問21 在宅就業者のために研修、講習などを実施していますか。  
 実施している場合どのような内容ですか。（該当する項目すべてに 印をつけてください。）

会社で実施している	1	→	採用・登録時の基礎的な研修、講習	1
外部での研修を受けさせる	2		新しい機種、ソフトなどの導入時の研修、講習	2
行っていない	3		個人の能力レベルに応じた段階的な研修、講習	3

問22 在宅就業者からの問い合わせや苦情等の受付を行う管理担当者を配置していますか。また、在宅就業者の管理台帳あるいは帳簿の類は備え付けていますか。

〔管理担当者〕

〔管理台帳〕

専任者を配置している	1
個々の業務担当者が管理している	2
特にいない	3

備え付けてある	1
備え付けていない	2
わからない	3

問23 在宅就業者への仕事の発注にはどのような問題点がありますか。（該当するものすべてに 印を付けてください。）

優秀な人材の確保が難しい	1	機密保持が難しい	6
必要な時に必要な仕事量をやってもらえない	2	通信コストが高い	7
仕事成果に個人差が大きい	3	設備費が高い	8
納期が守られないことがある	4	その他（ ）	9
管理に手間がかかりすぎる	5	特にない	10

問24 在宅就業者との間でトラブルはありますか。（ありましたか。）

また、どのような内容で、対処方法はどのようにしましたか。（該当するものすべてに 印をつけてください。）

〔内容〕

〔対処方法〕

ほとんどない	1
たまにある	2
かなりある	3

仕事の発注量、頻度	1
仕事の納期	2
仕事の出来具合	3
報酬の支払い	4
その他（ ）	5

説明、説得を行った	1
言い分をよく聞いた上で、在宅就業者の納得のいく方法をとった	2
次の仕事で面倒をみることとした	3
仕事発注を打ち切ることとした	4
その他（ ）	5

問25 過去3年間において、発注量はどのように変化しましたか。

増えた	1
減った	2
変わらない	3

問25-2 今後の在宅就業者への発注量の見込みについてどのような方針を持っていますか。

拡大させる	1
現状維持	2
減少させる	3
中止する	4
わからない	5

お忙しいところ、調査にご協力いただきましてありがとうございました。

（知りたい情報、その他、在宅就業についてご意見があれば自由にご記入ください。）

様式第 2 号

総務省承認	2 2 7 8 9
承認期限	平成14年 4月30日まで

都道府県 番 号	番 号	産業分類番号 (中分類)

印欄は記入しないでください。

〒必  
厚生労働省

## 平成 13 年度 家内労働等実態調査

### 情報通信機器の活用による在宅就業実態調査（在宅就業者個人調査票）

この調査票は、統計以外の目的に使用することは決してありませんので、ありのままを記入してください。

- 1 回答は、特にことわりのない限り、平成14年2月28日現在の状況を記入してください。
- 2 記入方法  
回答は、すべて太枠内に記入してください。  
回答欄は、特にことわりのない限り、該当するものを一つだけ選び、番号を○で囲んでください。  
また、( )内は具体的に記入してください。  
回答欄が、**1 2 3**のように網掛けになっている場合は、複数回答となっています。  
回答欄が空欄のものは、該当事項、該当数字を記入してください。  
記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒で平成14年3月14日までに返送してください。
- 3 記入の仕方がわからなかったり、不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

----- 問い合わせ先 -----  
 (厚生労働省雇用均等・児童家庭局短時間・在宅労働課)  
 〒100-8916  
 東京都千代田区霞が関1-2-2  
 TEL 03-5253-1111 (内線7879) 直通 03-3595-3273  
 FAX 03-3502-6764

この調査では、「在宅就業」をパソコン、ワープロあるいはファックスなどの情報通信機器を使って自宅で請負・フリーの仕事を行うことと定義しています。

#### 在宅就業者に関する一般的事項

問1 あなたの性別、年齢を記入してください。

男	1	→	満 歳
女	2		

問2 配偶者の有無、子供の有無及び年齢をお聞かせください。

〔配偶者の有無〕		同居の子供あり〔末子の年齢〕						同居の 子供なし
いる	1	0歳	1歳	2～3歳	4～6歳	7～11歳	12歳以上	
いない	2	1	2	3	4	5	6	7

#### 在宅就業に関する事項

問3 在宅就業を始めてどのくらいになりますか。

1年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～7年未満	7～10年未満	10年以上
1	2	3	4	5	6	7



問4 在宅就業について現在行っている仕事の内容は何ですか。(受注額が多いもの1つに 印をつけてください。)

文書入力	1	設計、製図、デザイン	7
テープ起こし	2	DTP(編集)、電算写植	8
データ入力	3	ライター、翻訳	9
ホームページ作成	4	調査、コンサルティング	10
システム設計、プログラミング	5	取引文書作成、伝票整理	11
計算処理、情報検索	6	その他( )	12

問4-2 在宅就業を始める以前に、上記で を付けた職種についての業務経験はありますか。

経験あり	1
経験なし	2

問5 在宅就業を始めた理由は何ですか。(該当する項目すべてに 印をつけてください。)

育児や介護等、家事と仕事の両立のため	1	パソコンの仕事が好き、パソコンを買ったから	9
健康上の理由により、通勤負担を軽減するため	2	事業開始の準備、事務所コスト節約のため	10
自分のペースで柔軟・弾力的に働けるため	3	仕事の依頼があった、職場の人に勧められたから	11
通勤が嫌い、無駄と思うから	4	家族の転勤や転居によって通勤できなくなったから	12
会社勤めが不向き、人間関係が苦手だから	5	よい勤め口がない、失業したから	13
会社勤めでは能力が発揮できないと思うから	6	会社勤務からの独立のため	14
仕事を選べる、自分の専門分野の仕事ができるから	7	その他	15
自分がやった分だけ報われ、働きがいがあるから	8	( )	

問6 あなたの仕事の確保状況はどれが当てはまりますか。

継続的にある	1
途切れる時がある	2
ない時の方が多い	3

問7 ここ1年間に仕事を受けた依頼主はいくつですか。

1社	1
2社	2
3社	3
4社	4
5~9社	5
10社以上	6

問7-2 複数の依頼主がある場合、最も仕事量の多い依頼主のウエイトはどの程度ですか。

80%以上	1
60~79%	2
40~59%	3
20~39%	4
20%未満	5

問8 仕事の依頼主はどのようにして見つけましたか。(該当するもの3つ以内に 印をつけてください。)

以前の勤め先	1	求人広告への応募	6
以前の勤め先の取引企業	2	自分で営業	7
以前の勤め先関係の知人の紹介	3	インターネットの情報	8
勤め先関係以外の知人の紹介	4	仲介的な会社、個人	9
仕事仲間の情報、紹介	5	その他( )	10

問9 概算での年収・年商(必要経費を除く。)はいくら位ですか。

25万円未満	1	100～149万円	5	400～499万円	9
25～49万円	2	150～199万円	6	500～699万円	10
50～74万円	3	200～299万円	7	700～999万円	11
75～99万円	4	300～399万円	8	1000万円以上	12

問10 主にどのような時間帯に働いていますか。(該当するもの2つ以内に 印をつけてください。)

午前(8時～12時あたり)	1	夜(20時～24時あたり)	4
午後(12時～17時あたり)	2	深夜(0時～4時あたり)	5
夕方(17時～20時あたり)	3	早朝(4時～8時あたり)	6

問11 あなたは、在宅就業の仕事を2月中に何日位しましたか。

2月中に在宅就業の仕事をした日数  日

問11-2 仕事をした日の1日平均の作業時間はどの位ですか。

1日平均  時間  分

問12 2月に在宅就業者として働いた分の月収額はどの位ですか。

十万	万	千	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	千円

### 契約に関する事項

問13 仕事の契約はどのように行っていますか。(該当するもの全てに 印をつけてください。)

書面(契約書方式)	1	電子メール	4
書面(伝票形式)	2	口頭	5
書面(メモ程度)	3	その他( )	6

問14 受注から納品までの期間はどの位ですか。(次の職種で最も多いものに 印をつけてください。)

受注から納品までの期間 職種〔納品単位〕	1日未満	1日以上	3日以上	5日以上	1週間以上	2週間以上	1ヶ月以上	2ヶ月以上	3ヶ月以上
		3日未満	5日未満	1週間未満	2週間未満	1ヶ月未満	2ヶ月未満	3ヶ月未満	
文書入力〔400字詰め原稿用紙30枚当たり〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9
テープ起こし〔録音時間90分当たり〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9
データ入力〔100レコード当たり〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ホームページ作成〔HTMLファイル1つ当たり〕	1	2	3	4	5	6	7	8	9

注1)〔 〕内に示されている納品単位と実際の納品とが異なる場合、〔 〕内の単位に換算して、記入してください。以下に例を示します。

例1

40字30行の文書(1枚当たり1,200字)15枚の文書入力の受注から納品までの期間が5日の場合:  
 $(400字 \times 30枚) / (1200字 \times 15枚) \times 5日 = 3.3日$

例2

録音時間30分のテープ起こしの受注から納品までの期間が1日の場合:  
 $90分 / 30分 \times 1日 = 3日$

注2) データ入力については、1レコード当たりの文字数にかかわらず、レコード数(件数)のみで換算してください。

注3) ホームページの作成については、HTMLファイル数によって受注から納品までの期間を設定している場合のみご記入ください。

問14-2 文章入力にご記入いただいた方のみにお尋ねします。納品の際、一番多い納品物の形態及び納品方法についてお答えください。

フロッピーディスク	宅急便・郵便で送る	1
	発注者が取りに来る	2
	自分で持って行く	3
	その他( )	4
印刷物(紙)	ファックスで送信	5
	宅急便・郵便で送る	6
	発注者が取りに来る	7
	自分で持って行く	8
	その他( )	9
通信データ	データ送信(電子メール等)	10
	その他( )	11

問15 仕事の報酬はどのような単位、手順で決められていますか。(該当するもの全てに 印をつけてください。)  
 〔報酬単位〕

出来高	<input checked="" type="checkbox"/> 1
出来高から換算した所要時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2
実際の所要時間	<input checked="" type="checkbox"/> 3
その他( )	<input checked="" type="checkbox"/> 4

〔報酬決定の手順〕

依頼主が設定する	<input checked="" type="checkbox"/> 1
依頼主が設定し、必要があれば交渉する	<input checked="" type="checkbox"/> 2
自分で提示し、依頼主と調整する	<input checked="" type="checkbox"/> 3
自分で設定する	<input checked="" type="checkbox"/> 4

問16 在宅就業を開始するに当たり、どのような準備をし、かかった費用はどの程度ですか。(該当するもの2つ以内に 印をつけてください。)

〔準備した内容〕

OA機器の購入	1	机等備品の購入	3	知識を身につけるための講習会等費用	5	その他( )	7
ソフトウェアの購入	2	部屋の改修	4	テキスト等図書購入費	6		

〔かかった費用〕

5万円未満	1	20～29万円	4	100～299万円	7
5～9万円	2	30～49万円	5	300万円以上	8
10～19万円	3	50～99万円	6	不明	9

問17 在宅就業にあたって、主にどのような情報通信機器を使用していますか。またその所有関係及び費用負担はどうなっていますか。(受注等コミュニケーションのために使用するものを除き、主な情報通信機器1つについてご記入ください。)

	受注前から 個人で所有	受注に当たり又は受注後 個人で購入又は買取		受注に当たり 貸与(リース)		その他 ( )
		全額自己負担	一部会社負担	有料	無料	
パソコン	1	2	3	4	5	6
ワープロ	1	2	3	4	5	6
ファックス	1	2	3	4	5	6
その他( )	1	2	3	4	5	6

その他

問18 依頼主との間でトラブルがありますか。(ありましたか。)

ほとんどない	1
たまにある	2
よくある	3

問18-2 どのような内容ですか。また、トラブルの際、どのように対処しますか。該当するもの全てに 印をつけてください。

〔内容〕

依頼される仕事の量	1	仕事の出来具合	3
仕事の納期	2	報酬の支払い(金額、時期、方法)	4
その他( )			5

〔対応〕

ファックス、郵送などで交渉する	1	作業停止、取引停止	5
電話で交渉する	2	何もしない	6
直接会って交渉する	3	その他( )	7
第三者を間に立てて交渉する	4		

問19 在宅就業に関し、いま困っていることがありますか。（該当するもの全てに 印をつけてください。）

仕事の確保	1	ハード・ソフトウェアのレベルアップ	7
単価が安いこと	2	能力・知識の不足	8
病気など納期間際のトラブルへの対処	3	仕事をする場所の確保	9
忙しすぎる、体力的にきついこと	4	税務問題	10
大きな仕事を引き受けるための仲間・人材の確保	5	その他（ ）	11
取引先とのトラブル	6		

問20 仕事上のパソコン作業により次のような症状を感じていますか。

〔 症 状 〕

〔 治療、通院の有無 〕

肩凝り	余り感じない	1	→	している	1
	やや感じている	2		していない	2
	かなり感じている	3			
眼精疲労	余り感じない	1	→	している	1
	やや感じている	2		していない	2
	かなり感じている	3			
腰痛	余り感じない	1	→	している	1
	やや感じている	2		していない	2
	かなり感じている	3			
その他 ( )	余り感じない	1	→	している	1
	やや感じている	2		していない	2
	かなり感じている	3			

問21 依頼主の指示（自己負担の場合も含む）で健康診断を受けたことがありますか。健康診断の内容はどんなものですか。（該当するもの全てに 印を付けてください。）

ある	一般健康診断	1
	VDT健診	2
	その他（ ）	3
なし		4

注）VDT健診：視力検査、握力検査、  
タッピング検査など

問22 在宅就業を行うに当たっての仕事に必要な能力はどのようにして身につけましたか。（該当するもの全てに 印をつけてください。）

社会に出る前に学校で	1	勤務先での仕事経験、研修などを通じて	4
社会に出た後、専門学校などに通って	2	本などで自分で勉強して	5
社会に出た後、講習などに参加して	3	その他（ ）	6

問23 現在、仕事に必要な知識・技能の維持・向上のために何かしていますか。

問23-2 どういうことをしていますか。（該当するもの全てに 印をつけてください。）

している	1
していない	2

ソフトウェアの学習	1
資格取得への取組（どのような資格ですか：）	2
その他（）	3

問23-3 どのようにしていますか。（該当するもの全てに 印をつけてください。）

書籍、雑誌、関連情報などによる自己学習	1
仕事関係者、仲間との情報交換	2
配偶者からの指導、助言	3
依頼主主催・推薦の講習会などへの参加	4
自分で探した講習会などへの参加	5
その他（）	6

問24 仕事確保や情報交換のため、また相談相手を得るため、他の在宅就業者との交流の機会が必要だと思いますか。

問24-2 あなたは、実際に仕事グループや人的ネットワークに入ったり自分で作って行くことに積極的ですか。

必要だと思う	1
必要ないと思う	2
どちらともいえない	3

(1と答えた方)

積極的である	1
比較的積極的である	2
あまり積極的ではない	3
消極的である	4

(1、2と答えた方)

(3、4と答えた方)

問24-4 どのようなものなら参加しますか。

インターネット上のものであれば	1
近くで行われるものであれば	2
公的機関が行うものであれば	3
託児付きのものであれば	4
その他（）	5

問24-3 あなたは、仲間とどのような接触を図っていますか。

仲間グループを作り、共同受注を行う等、役割分担をしながら在宅就業を行っている。	1
なるべく定期的に会うようにしている。	2
たまには会うが、電話や電子メールでの接触が中心である	3
ほとんどが電話や電子メールでの接触である	4

問25 あなたはインターネットを利用していますか。また、インターネット上で、在宅就業関連情報を網羅し、ワンストップで提供するサイトがあれば、利用しますか。

インターネット を利用している	ワンストップで提供するサイトがあれば利用する	1
	ワンストップで提供するサイトがあっても利用しない	2
	利用するかどうかわからない	3
インターネットを 利用していない	ワンストップで提供するサイトがあれば利用する	4
	ワンストップで提供するサイトがあっても利用しない	5
	利用するかどうかわからない	6

問26 今後も在宅就業を続けて行きたいですか。 問26-2 その理由は何ですか（該当するもの全てに 印をつけてください。）

ぜひ続けていきたい	1	→	一時的な仕事、働き方であったから	1
できれば続けていきたい	2		収入が少ない、不安定だから	2
迷っている	3		体力的に無理、生活と両立しないから	3
やめたい	4		勤めに出ることにしたから	4
			一人で働くことは向いていないから	5
			その他（ ）	6

問27 子育て期（末子が小学校就学前）の女性にお尋ねします。

将来、子供さんが手から離れた場合、出勤勤務（パート等）に出る考えはありますか。

絶対に出たくない	1	→	問27-2 それはどういう理由からですか。（該当するものすべてに 印をつけてください。）	
できれば出たくない	2		希望する仕事ができない	1
出ると思う	3		時間の自由がきかない	2
		(1、2と答えた方)	家を空けたくない	3
		(3と答えた方)	人に使われたくない	4
			その他（ ）	5

問27-3 それはどういう理由からですか。（該当するものすべてに 印をつけてください。）

キャリアアップが図れないから	1
希望する仕事が出来ないから	2
外界と接触する機会が少ないから	3
現在は外に出て働くことができないから	4
公私の区別がつけにくいから	5
十分な収入が得られないから	6
その他（ ）	7

（知りたい情報、その他、在宅就業についてご意見があれば自由にご記入ください。）

お忙しいところ、調査にご協力いただきましてありがとうございました。